

模型製作部門のご案内

千代田鑄造株式会社

製造部模型班

- 2000年12月 製造部模型班設立、木型、注型樹脂型の製作を開始
- 2004年9月 3DCAD/CAM (MasterCAM) 導入
- 2004年12月 立型マシニングセンタ (OKK VP400) 導入
- 2008年5月 3DCAD (Pro E) 導入
- 2013年10月 3DCAD (VISI) 導入
- 2013年11月 門型NCルーター (SHINX) 導入

2014年現在、木型、樹脂型の製作は社内生産率100%を目標とし活動しております。

主要設備

■ 門型NCルーター 15ZXN SHINX

1300 × 2600 × 600

■ 工作機械
一式

■ CAD/CAM

MasterCAM X7

Pro E

VISI 20

AutoCADLT2009



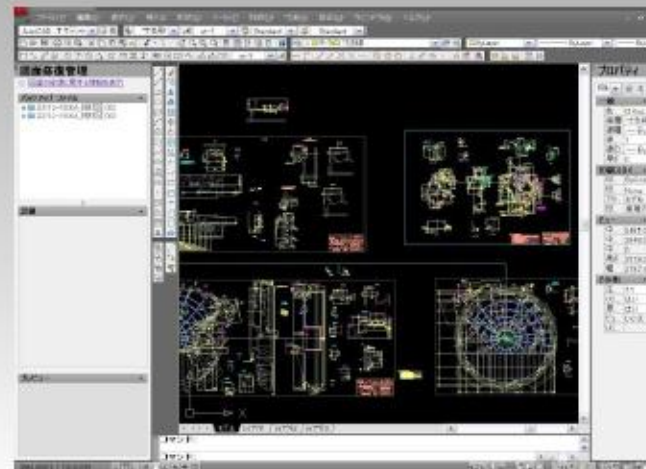
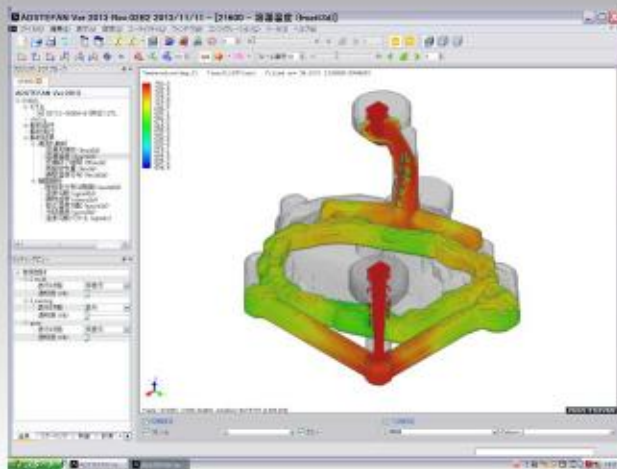
関連技術・展望

■ 鋳造シミュレーションシステムの導入

2014年1月、ADSTEFAN(日立情報サービス)が導入されました。模型製作時の3DCADデータを元に方案検討が可能となり、不良率低減、及び試鋳工程の短縮化に期待が持たれています。

■ 粗材図の製作

弊社ではこれまで、2DCADによる各種図面の製作を行って参りました。上記鋳造解析技術との併用によって、お客様との事前打合せ、確認作業に、より一層活かせるのではないかと期待しております。



模型製作事例



自硬性
枠寸 1000 × 900 × 250
中子取り1点



自硬性
枠寸 1000 × 900 × 300
中子取り8点

ジョルトスクイズ造型機用

枠寸 370×280

中子取り2点



ジョルトスクイズ造型機用

枠寸 370×280

中子取り1点



